

■飯野吉三郎 “日本のラスプーチン”“稲田の神様”。古神道と易学に通じ皇室中心主義で多くの信奉者を得るも失脚。

いいのきちさぶろう

大政奉還・1867= 美濃国恵那郡の山深い城下町で、松平藩士三男の三男に生まれる。

明治維新・1868= 1歳：父が病没、

哀れんだ藩主が長男を取立てくれるも、苦しい生活であったが、

長女を農家に、次男を嗣養子に出して凌いだ母のお蔭で、

明治6年政変 1873= 6歳：

三つの内乱・1876= 9歳：

沖縄県編入・1879=12歳：小学校を卒業。

明治14年政変1881=14歳：

名古屋でキリスト教会の下働きをしながら、独学を続けたらしい。

内閣発足・1885=18歳：

帝国大学始・1886=19歳：この頃、兄が郷土の先輩の大島健一・下田歌子・三好学宛に書いてくれた紹介状持ち、伊勢神宮・京都御所に詣でた後、上京し、書生として大島宅に寄寓後、私立学校教員となる。やがて、人気教師となったが、

帝国憲法発布1889=22歳：

帝国議会始・1890=23歳：結成された東京娼妓会の錚々たる名の並ぶ運営委員の一人となり、全国大会の書記にも推される。

大津事件・1891=24歳：濃尾大地震の救援活動にも活躍するなどして、人脈を広げ、

郡司千島探検1893=26歳：(下田の桃天女塾を模してか)\*牛込に私塾(日本精神講談)を開設。当初は順調であったが、

日清戦争始・1894=27歳：

精神学者と称して神道に帰依し、神懸りのカリスマ性を発揮し始め、明治女学校出の高原梅に潔子を産ませたのに続いて、その同期生で生涯自らを支えてくれることになる鈴木げんとの間に初子を儲ける。

白馬会・1896=29歳：生徒も減って、手元不如意となり、日本橋“白木屋詐欺事件”を起して、入獄。

八幡製鉄始・1897=30歳：出獄し、

Bushidou・1899=32歳：鈴木げんの許へ帰り、

ピアノ国産化・1900=33歳：次女慶子が誕生。

田中正造直訴1901=34歳：田中正造と交流し始め、

日比谷公園・1903=36歳：児玉源太郎との会談を斡旋。国産紙巻煙草の創始者村井吉兵衛の別宅に住むようになり、

日露戦争始・1904=37歳：\*児玉に日露開戦の決意をさせ、現地に招かれ影のように従軍、熱烈な祈祷と神託の中で信任を得る。

日露戦争終・1905=38歳：講和会議中再び満州に渡るも、日比谷焼打事件に急遽帰国し反乱首謀者らの説得に当たる。

満鉄発足・1906=39歳：\*児玉が急逝して強力な庇護者を失うも、

韓国反日暴動1907=40歳：\*幸徳秋水の平民新聞によるスキャンダル暴露記事で辞職を決意した下田歌子の留任運動を行い、下田を敬う外松男爵から持参金まで付けて、稲田の屋敷を与えられ、広大な邸宅に神殿を建て、各方面の名士が盛んに出入り、フィクサー“稲田の神様”となって行く。

伊藤博文暗殺1909=42歳：奥宮健之が相談に訪れ、

韓国併合・1910=43歳：大逆事件に深く関与、後に奥宮スパイ説や下田の幸徳報復説などが生まれる。

明治天皇没・1912=45歳：ドイツ皇帝特使のルドルフ=オットーと会談し、日本の宗教について解説。

大正政変・1913=46歳：日本に亡命してきた孫文庇護に一役買うなど、目覚ましい存在感を発揮するが、下田・河野広中らと超国家主義団体(日本精神団)を組織して世の批判を浴び、

第一次大戦始1914=47歳：倒産した旭貯蓄銀行を恐喝したとして収監される。

21ヶ条要求・1915=48歳：花井卓蔵の弁論によって、無罪判決。

下田が飯野への叙勲支援運動をする。一般人に先駆けて電話や自家用車を持つなど恵まれ、

本格政党内閣1918=51歳：自らも産婆役の一人とされた原敬内閣が誕生し、

ベルリン条約・1919=52歳：伊豆山神社に払下げられた御料林を買求め、石材切出しなどの開発事業を開始するなど、

威勢が最も盛んになる一方、女癖の悪さも目立ち始め、多くの女性に産ませた子19人全部を自邸で養育。

原敬首相暗殺1921=54歳：母が死去。下田を介して宮中某重大事件に関与、西園寺公望に嫌われ、原敬暗殺で再び庇護者を失う。

水平社結成・1922=55歳：(日本精神団)の財団法人化が許可される。

関東大震災・1923=56歳：後藤新平が招いたヨッフエ特使に対応。宮城県知事の招請で仙台で講演し大盛況。

護憲三派圧勝1924=57歳：かつての“白木屋詐欺事件”の刑罰も復権抹消されるが、

治安維持法・1925=58歳：貸金返済迫る傷害事件(並木事件)を起して告訴されたトップ報道を皮切りに、下田との仲を暴露するスキャンダル記事があふれて行き、

日本時代始・1926=59歳：\*不拘束のまま書類送検され、遂に、社会的生命が断たれ、支援者は立去り、紙面からも消えた。

海軍軍縮条約1930=63歳：

満州事変・1931=64歳：

五一五事件・1932=65歳：伊豆山の土地も全て手放すなど、

家計も逼迫して行く。

日中戦争始・1937=70歳：

第二次大戦始1939=72歳：

高利貸にまで手を出して、赤紙が貼られるほどに窮乏するなか、

日米開戦・1941=74歳：

寝たきりの状態となり、

年金+総武装 1944=77歳：没した。